

月夜の能舞台にホタルが舞う

第三十一回

あきの螢能

能羽衣 (浦田保親)

狂言磁石 (茂山千五郎)



2025年6月14日(土)

於：阿紀神社能舞台

宇陀市大宇陀迫間252

(雨天 宇陀市文化会館)

午後4時

開場

抹茶の接待 (S席、螢能保存会会員のみ)

午後4時半

子ども能楽教室発表

午後6時

本公演

入場券(前売) ▶ 5,000円 (当日) ▶ 6,000円

*高校生以下は2,000円

Sエリア入場券 ▶ 2,000円

(抹茶の接待付き、入場券に加えて必要)



Sエリア
一般エリア

阿紀神社
能舞台

Sエリア

一般エリア

チケットは4月1日より下記にて販売いたします

一般入場券
取扱所

道の駅宇陀路大宇陀・じゅうだテラス(榛原駅南口)
宇陀市役所商工観光課
あきの螢能WEBサイト チケットぴあ(Pコード:532575)

Sエリア入場券

道の駅宇陀路大宇陀・あきの螢能WEBサイト

お問合せは あきの螢能保存会事務局

0745-82-2457

(開催当日 朝9時以降は 0745-88-9049)

主催/あきの螢能保存会

後援/宇陀市・宇陀市観光協会

宇陀商工会青年部

うだ子ども能楽教室発表会

連吟

老松

仕舞

清経

西王母

清経

伊藤

谷岡

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

伊藤

午後四時半

猿々

清経

岩船

沙羅

山崎

浦田

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

貴彦

羽衣(はごろも)

【あらすじ】

駿河国(静岡県)三保の松原に住む白龍という漁師が、今日も釣りにやって来ます。そして、のどかな浦の景色を眺めている、という句がするの、あたりを見廻すと、一本の松の木の枝に、美しい衣が掛つています。家の宝にでもしよう、と、持って帰りかけると、一人の女性が現れて呼び止め、それは自分のものだから返してほしいと頼みます。その女性が天人であり、その衣が天の羽衣である、ことを聞かされた白龍は、そんなに珍しいものかと喜び、国の宝にしよう、と返そうとします。天人は、羽衣がなくて天に帰れない、空を仰いで嘆き悲しみます。その姿があまりに哀れなので、白龍は、羽衣を戻すかわりに、天人の舞楽を見せてほしいと頼みます。天人は喜んで承知し、羽衣を着し、月世界における天人の生活の面白さや、三保の松原の春景色を贅えた(後の世に「駿河舞」として伝えられる舞を舞いながら、天空へと上ってゆきます)

【みどころ】

能の中で、これほど一般的に知られている曲はありません。人形やポスターに取り上げられるのも、能の中では随一です。中学や高校の国語の教科書に採用されるのもこの曲が一番多いようです。あまり有名なすぎて、かえって月並いと思われ軽く扱われがちですが、やはり人気曲になるだけのすくなくれた内容と形式が、かねてきた曲なのです。原拠になった「羽衣伝説」は日本の諸地方にも、また「白鳥伝説」としてヨーロッパ各地にも広く流布しています。しかし、それらはみな、漁夫(または農夫)が羽衣を返さないで、天人はやむをえず男の妻となり、子供も出来たのち、隙をねらって羽衣を取り返し、昇天することになっていきます。ところが能では、漁夫が天人を哀れんで、自ら返し与えるように純化されています。衣を戻す時、衣がなくてはいけません。天人がいう、衣を返すと、そのまま舞わなくて天へ逃げたのだらうと、白龍はいう。それに対して、「いや、疑ひは人間にあり、天に偽りなきもの」と天人が答え、白龍も素直に「あら恥かしや」と羽衣を返します。このやりとりも、「羽衣」という能を格調のあるものにしてしています。

あきの螢能 運営ご協賛のお願い

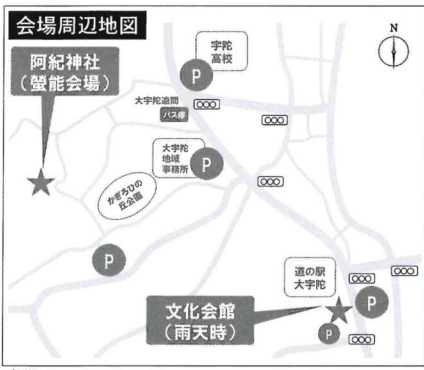
あきの螢能は、神代に始まり元伊勢である阿紀神社で、織田家が寄進した能舞台で、およそ三〇〇年前に始まった神事能が始まります。現代に入り、より能楽を楽しんでいただけるよう、上演中にホテルを放つ演出をしており、世界でもここだけ、と好評いただいております。一方、今後も継続していくには皆様方のご支援が必要です。なにとぞご協賛金のご協力をお願いいたします。

お振込み先…奈良県農業協同組合 大宇陀支店

普通 8099823 アキノホテルノウホソナカイ
お問合せ先…あきの螢能保存会事務局(宇陀市観光課内)
074518212457

※次回案内などに使用するため、チケットに住所氏名などのご記入をお願いします。

※上演中の写真撮影、録音、録画、携帯での通話はご遠慮願います。



交通
車 名阪国道針インター → 約40分
電車・バス 近鉄大阪線橋原駅下車 → 奈良交通バス「大宇陀」行乗車(約20分)
→ 「大宇陀追間」下車 → 徒歩(約10分)阿紀神社
※雨天の場合は「大宇陀」下車すぐ宇陀市文化会館
船りの臨時バスは「大宇陀追間」バス停、
雨天時は「大宇陀」バス停より発車いたします。

